

実践経営論 [H14年度後期] 2単位

Practices of Business Administration

担当: 宮廻甫允(寄附講座京セラ経営学講座)他

教官室: 工学部共通棟702号室

電話: 099-285-8329, E-mail: kyocera@eng.kagoshima-u.ac.jp

講義の概要(目的と内容)

ベンチャービジネス論(前期開講)にて得られた動機付けをもとに、本論では、それらを永続・運営していくために必要な考え方、手法(理論と実践)を身につける動機付けを行う。特に下記を重点的に教育内容に取り入れる。

- (1) 企業経営、技術移転、ベンチャービジネス等に関する教育を通じ、積極性、主体性、倫理意識、創造性、責任感 のある人材の育成する。
- (2) 起業に挑戦し地域経済や社会に貢献するとともに将来の日本を担う起業家を生み出すことを目指す。
- (3) 京セラ、DDI等を起こし世界的企業に育て上げた稲盛氏の経営哲学や、京セラの経営方式を教育内容に取り込む。

受講生が達成すべき目標

ベンチャービジネス・企業経営を成功させるためには、経営理念・哲学が必要であるとともにそれらを継続的に管理・運営していく社内管理システムも必要であることを知ること。そして、その管理システムの成功事例としての京セラアメーバ方式を習得すること。

授業計画

回	日程	内容	講師
①	10月 9日	『企業経営とは?』	宮廻甫允・京セラ経営学講座併任教授
②, ③	10月23日	『会計学の基礎知識Ⅰ,Ⅱ』	北村浩一・法文学部経済情報学科助教授
④, ⑤	11月 6日	『京セラ会計学Ⅰ,Ⅱ』	石田秀樹・京セラ(株)常務(財務担当)

⑥, ⑦	11月27 日	『組織論とアメーバ経営Ⅰ,Ⅱ』	亀田速穂・大阪市立大学助教授
⑧, ⑨	12月 4 日	『アメーバ経営Ⅰ,Ⅱ』	森田直行・KCCS(株)代表取締役 社長
⑩	12月11 日	『実学』	稲盛和夫・京セラ(株)名誉会長
⑪, ⑫	12月18 日	『時間当り採算制度Ⅰ,Ⅱ』	満田正和・京セラ(株)(経営管理 部)
⑬, ⑭	1月29日	『ワークショップ「京セラの発展の原動 力」Ⅰ,Ⅱ』	宮廻甫允・京セラ経営学講座
⑮	2月 5日	『まとめ』	宮廻甫允・京セラ経営学講座

成績の評価基準

① 出席状況②質疑応答 ③試験もしくはレポートの結果の3者を基に総合的に判断する。

教科書・参考書

教科書:特になし。資料は授業前に配布する。

参考書

「成功への情熱」 稲盛和夫 PHP研究所
「実学」 稲盛和夫 日本経済新聞社

習得しておくべき科目

特になし。前期実施のベンチャービジネス論の受講も奨める。

オフィスアワー

水 13:00~15:30 工学部共通棟702号 もしくは 稲盛会館

その他・必要な予備知識等

特になし。